

# テールアルメ工法

## 管テールアルメ工法の優れた4つの性能種類

仕様規定から性能規定へ。

構造物には使用目的や用途に応じた性能が求められます。

安全で壊れないという条件はもちろんのこと、自然環境に対して優しい工法であることや、省資源・省力化にどれくらい貢献できる工法であるかということも、評価される重要な要素です。

これからの多様化する性能要求に応え得る「優れた4つの性能」……

これがテールアルメ工法の大きな特長です。

economical performance

### 経済性能

テールアルメはプレキャスト部材による簡単な施工で、工期短縮・省力化がはかれます。各種部材の性能をさらに向上させ、コスト削減を実現しました。また用地を有効に活用できる点でも経済性に優れた工法です。

environmental consideration

### 環境共生性能

テールアルメは自然・街・人と調和する、環境に優しいテクノロジーです。レリーフ壁面材や模様付き壁面材、マルチコーナー部材などを用いて用地の環境に合わせた自由なデザイン設計が可能です。

## TERRE ARMÉE

earthquake-proof

### 耐震性能

テールアルメは地盤の変化に追従する、高い変形適応性能をもつ盛土工法です。国内外で発生した多くの地震でも、テールアルメには大きな損傷もなく、その優れた耐震性能が認められています。

multiform application

### 応用性能

テールアルメは土をストリップで補強しますので、極めて高い垂直盛土を構築できます。補強の原理はシンプルですが、多段積みや橋台・護岸・防爆壁・カルバート坑口壁・軟弱地盤上など多岐にわたる応用性に優れています。

## テールアルメ工法の



7 完了



●別途施工要領書をご用意しています。

## 用途

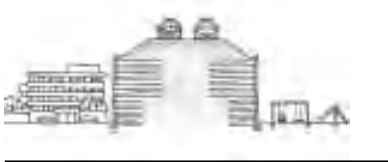
造成・長大のり面



カルバート坑口壁



両面盛土



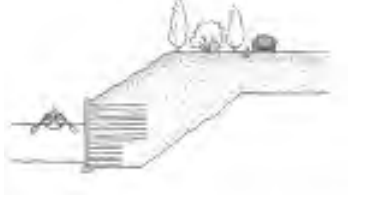
貯蔵堰・防爆壁・堤防



直接橋台・複合橋台



水辺・河川



多段積・高壁高



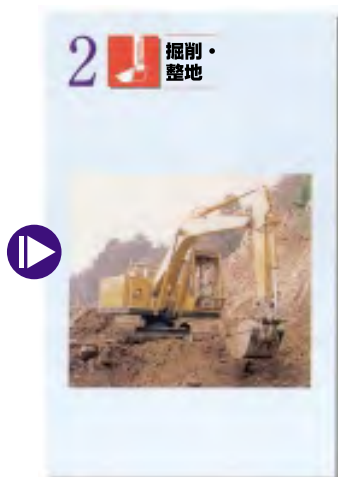
道路の拡幅・腹付け盛土



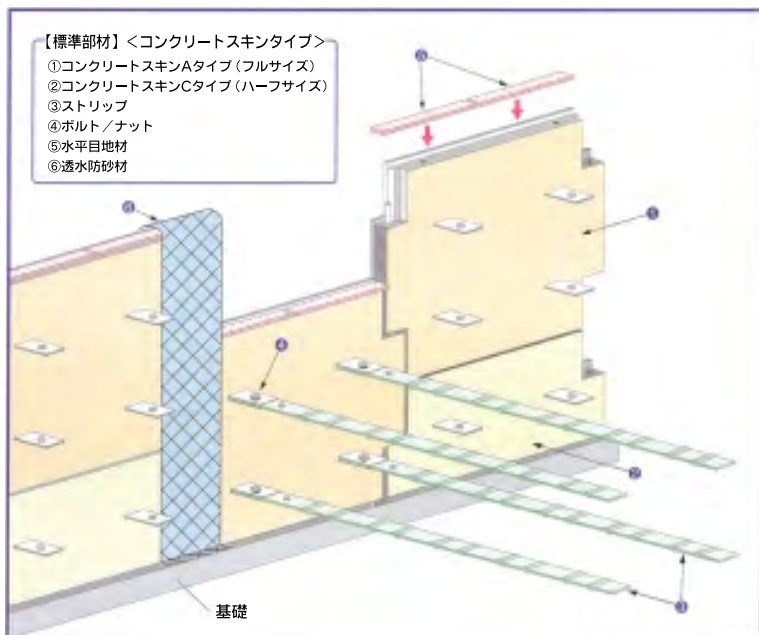
# コンクリートスキンタイプ

## 施工手順と標準部材

- プレハブ工法により、省力化が図れます。
- 簡単な施工で特殊な技能や重機を必要としません。
- 薄層転圧により高品質な盛土が構築できます。



4~6の工程を繰り返します



【標準部材の規格】

<p>■コンクリートスキン</p> <p>フルサイズ (2.25m<sup>2</sup>) 約750kg</p> <p>ハーフサイズ (1.125m<sup>2</sup>) 約375kg</p> <p>●天端用タイプ (DP2)</p> <p>●最下段用タイプ (C2)</p>	<p>●標準タイプ (A4)</p> <p>1500 140 1480</p> <p>730 730</p> <p>δck=30N/mm<sup>2</sup></p>
<p>■ストリップ</p> <p>●リブ付ストリップ</p> <p>ボルト穴 所用長: L</p> <p>60 4.0x60XL リブ</p> <p>SM490A δsa=185N/mm<sup>2</sup></p>	

※設計等のお問い合わせ、資料のご請求は  
当社営業員へご依頼下さい。